

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)311144
印刷所 旭印刷
電話(水俣)4101番

津奈木



鶴野達雄氏作品

町民の憩いの場 温泉四季彩

昨年五月一日オープン以来、津奈木町から施設の管理運営委託を受けた、財団法人津奈木町地域振興公社・つなぎ温泉「四季彩」が好評を博し開業一周年を迎える現在、経営も順調に推移し、三月末で一七一、七三二人の入館者数を記録した。さらなる地域活性化のために、施設では内外の環境整備と従業員の統一した笑顔をもっとに、お客様に親しまれる温泉施設づくりをめざしている。

(K・H)

つなぎ温泉四季彩 開業一年を迎えて

石橋を渡りて香る
月夜のかすむる
湯けむりの
眺むるけしき
心うるおす
和心

一言

「出生率二年ぶり大幅増」これは平成六年に生まれた子供の数が二二四万人で前年の一九九万人を上回ったこと。第二次ベビーブームと呼ばれた昭和四五年、昭和四九年生まれの子供たちが結婚適齢期を迎えるため、出生率は上昇傾向をたどると思われる。日本の社会にとって喜ばしくまたはほほえましい感じを受ける。この子供達が成長するまでの約二〇年間、実は大学は延々と続く危機の時代を過ごすことになる。第二次ベビーブームの子供達はすでに大学入学年齢一八歳を過ぎた。平成四年頃二〇〇万人をピークに平成十二年には、一五〇万人となる。ピーク時からの減少数は、五〇万人である。これは、大学進学率(現在四〇%弱で横ばい状態)から見て、大学進学数が二〇万人減ることを意味する。いすれにしろ十八歳人口が急激に減少していくのは避けようのない事実であり、労働者の確保も困難な時代がまもなくやってくる。ともすれば人手に頼ってきた道路の世界は、今後工事の合理化、機械化に苦慮することになる。生き残りの道を模索するのは、大学ばかりではなさそうである。

(K・K)

お知らせ

今年4月から文化センターで、青少年の健全育成を願って、原則として毎月第4土曜日午前10時から12時まで小・中学生を対象に「風ん子映画会」を実施します。無料ですのでさそい合っておいで下さい。一人でも二人でも実施する予定です。

風ん子映画会

土・日も図書館 の利用ができます

※開館は午前10時から午後5時までです。場所は文化センター横の郷土史料文化館内です。

(お待ちしております)
熊本県少年の船・少年のつどい一般団員募集

〈少年の船〉

行 先：沖縄県

日 程：H7年7月21日(金)

H7年7月26日(水)

負担金：1人 45,000円

〈少年のつどい〉

行 先：国立諫早少年自然の家

日 程：H7年8月11日(金)

H7年8月14日(日)

負担金：1人 10,000円

■受付締切日

H7年5月11日(木)

■申込先

つなぎ文化センター〈78-3096〉



油彩「公園」1964 境野一之 作

何を求めてそこへ足を運ぶ?

あったかい日だまり、涼しげな木陰、ながめのいい丘、美しい花。ひとつ処に集まりながらも、人々は、お互い干渉せず、個々の幸せと心地良さに浸れる場所。

子どもの歩む姿ひとつにも幸せになれる場所。

彼が愛したのはそんな場所。



平尾 雅述

県教育委員会から
社会教育主事を派遣

このたびの異動によりまして、水俣一中より、津奈木町社会教育主事(派遣)として赴任しました。学校教育から社会教育へと、領域が幅広くなり、私自身、希望と不安が交錯する新任一年目がスタートしました。津奈木町は、自然に恵まれ、四季それぞれの美しさをみせてくれると聞いております。また、温泉があり、町の至る所に彫刻等が設置され、自然と芸術の調和が見られるこの地で、みなさんと津奈木町社会教育発展のため、微力ながら、精一杯がんばりますので今後ともよろしく願います。

平成7年度町民講座日程表

■書道教室(文化セ)	〔第1・3木曜日〕	19:30 ~ 21:00
■書道教室(赤崎)	〔第2・4木曜日〕	19:30 ~ 21:30
■社交ダンス教室	〔第1・3火曜日〕	19:30 ~ 21:30
■着物着付教室	〔第2・4金曜日〕	19:30 ~ 21:30
■英会話教室	〔第2・4水曜日〕	19:30 ~ 21:00
■押し花教室(昼)	〔毎月第2水曜日〕	10:00 ~ 12:00
■押し花教室(夜)	〔毎月第3木曜日〕	20:00 ~ 22:00
■郷土史教室(文化セ)	〔毎月第2木曜日〕	19:30 ~ 21:30
■郷土史教室(平国)	〔毎月第2水曜日〕	19:30 ~ 21:30
■民謡教室	〔第1・3水曜日〕	19:30 ~ 21:30
■手話教室	〔第1・3金曜日〕	19:30 ~ 21:00
★ちぎり絵教室	〔毎月1回〕	13:30 ~ 15:30

その都度日程を決めます

※参加希望の方は文化センターへ連絡下さい(☎78-3096)

平成7年度町民体育祭 日程が下記のとおり決定しました。

大会名	期日	会場
男子ソフトボール大会	5月21日(日)	総合グラウンド
女子ミニバレーボール大会		B&G体育館
野球大会	8月13日(日) 14日(月)	総合グラウンド
競舟大会	8月15日(水)	
陸上競技大会	10月10日(水)	総合グラウンド

町内小・中学校 新しい先生方



津奈木小学校

- 一列目右から
競 衛 教頭
松原 昭 校長
農頭 昭勝 事務主幹
白坂 辰彦 教務主任
二列目右から
寺本 壽子 一年一組
永里 達也 一年二組
田中 睦 三年一組
- 三列目右から
本山 慎一 四年一組
森 道子 主任技師
服部 和子 二年一組
柳迫マサ子 主事補
林 亜紀子 四年二組
四列目右から
中川 晴子 五年一組
村上 剛史 六年一組



競 衛

この度、縁あって津奈木小学校に勤務することになりました。津奈木町は多数の教育文化人を輩出した町で先輩の皆様が築かれた伝統をけがすことなく、微力ながらも一生懸命がんばる所存でございます。よろしくお願いいたします。



田中 睦

就職生活二十二年目を迎え、初めて津奈木町に勤務することになりました。これまでは水俣市内の学校ばかりでしたので、戸惑うことも多いと思いますが、地域の方々に支えられながら、自分自身も伸ばしていきたいと思っています。



中川 晴子

熊本の城南小学校からまいりました中川晴子と申します。海と山とのすばらしい大自然に囲まれた津奈木町で、子どもたちといっし



本山 慎一

よに、元気いっぱいねまわりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



服部 和子

五木第一中学校下梶原分校より異動で参りました。出身は水俣の初野です。管外の中学校を3校経験してきましたが、小学校は初めてなので、早く慣れて子ども達と一緒にがんばっていききたいと思っています。よろしくお願いいたします。



森崎 次郎

熊本市立山ノ内小学校より参りました服部和子と申します。自然豊かなこの津奈木小学校で、子ども達と楽しく元気に頑張りたと思っています。優しく厳しさをとりえとしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



赤崎小学校

- 一列目右から
古市 康子 一年担任
元山 典一 海の子学級担任
鶴田 和彦 教頭
芹川 一誠 校長
田村 紀広 六年担任
田中 文子 養護教諭
二列目右から
辻 道 庁務
寺川 芳夫 五年担任
梶原 由香 事務職員
長船 洋子 二年担任
濱口 尚子 三、四年担任
- 潮香る赤崎には、心落ち着くものがあります。初任の地を津奈木町で過ごし、再びこの町に帰ってこれたのはうれしいことです。
「よく学び、よく遊ぶ」が私の好きな言葉の一つです。やる時は何事にも一生懸命やる子供/私もそうありたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



平国小学校

- 一列目右から
・藤原 審二 三年担任
・上村みゆき 一年担任
・森田 幸治 教頭
・喜多 幸夫 校長
・濱田美保子 二年担任
・勝田 成美 養護教諭
- 二列目右から
・村上 昭子 技師補
・津奈木和宣 教務主任
・田中久美子 主任事務
・谷川 理江 四年担任
・測上 竜一 五年担任
・田尻 則幸 六年担任
・緒方利恵子 (特殊) ひまわり学級



坂口 律子

熊本市立城南中学校から異動しました坂口律子です。実は初任も芦北で、豊かな自然と地域の方々の暖かさに包まれた良き思い出の多い土地です。津中の子供達も明るく活発でこれからの津中での生活がとても楽しみです。地域の方々の応援をよろしくお願いいたします。



中村 成利

社会科担当の中村と申します。前任校は水俣二中で、自宅も水俣の丸島にあります。津奈木には部活の練習試合などで数回来たことがありましたが、生徒のみんなの笑顔とあいさつの良さが印象に残っております。私も早くその仲間に入りたいと思っています。



出水 勇三

今回の異動で、田浦中学校より津奈木中学校にお世話になることになりました。津奈木町は風光明媚な所で町並みも文化と芸術の町そのもので、発展著しい町内の学



森田 幸治

芦北教育事務所から四月の異動で平国小へ参りました。学校現場へは、久しぶりの復帰となりますので多少の戸惑いはありますが、風光明媚で人情豊かな平国の地に勤務できることを大変うれしく思っています。先生方や保護者の方々と一緒に、児童の健全育成に努力したいと思っています。



濱田美保子

芦北町立湯浦小学校より異動で参りました。出身は田浦町で、町としてはほぼ同規模なのに活力が感じられ、なんとなく関心を持ち始めていた津奈木町に赴任することができ、大変嬉しく思います。まだまだ未熟ですが、子どもたちのために精一杯頑張っていきます。よろしくお願致します。



五島 靖士

津奈木中学校

荒尾市立荒尾第三中学校から、赴任して来ました。自宅は宇土市ですので、单身生活を思い出し、単身赴任致します。初任校が隣りの水俣二中ですので、大変なつかしく思っています。一日も早く、津奈木町に慣れ、微力ながら、活気に満ちあふれた学校づくりに、精一杯頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



津奈木中学校

校で勤務できることを誇りにし、心新たな気持ちで生徒や地域の方々と一緒に頑張ります。

行動できる生徒

活発な発表する松田染竹公民館長

活発な発表する林田内野公民館長

原田 純子

津奈木中3年 原田 純子

かにそうだと思ふ。絵で書いてあつて、姿がはつきりしているの、イマジネーションが固定しがちなのだらう。この本を読んでいると、便利な生活もいいが、やはり自然が一番だなと思ふ。

最近、釣りが趣味になっている。もしかしたらそれは、幼かつた頃のあの興奮をもう一度、味わいたかつたからかもしれない。

スケートを楽しむ

られて
兼義さん
(津奈木)
読む会」で
るに、津奈
も解きに
ている石

▲町誌を読む会
石田兼義さん

薩摩街道標柱作り

料や史跡の資料を集められたとの事である。そして、定年で職を離れた現在の現在、それらのひも解き

▲町誌を読む会で
石田兼義さん



藤原街道標柱作り

に努められているようだ。

昨年の十一月には、教育委員会の呼びかけで、「町誌を読む会」のメンバーを案内役に、津奈木町の史跡めぐりが実施された。また、町民の方に町誌を説明する場も設けて頂いているようだが、参加者が少ないとの事だった。一人でも多くの方に津奈木の歴史を知って頂くために、地域別に巡回してみたいとお話し下さった。現在は薩摩街道を調べ、標識建てにご努力頂いているようだ。

地名、名字、祭られている神さまの違いや場所など、話を伺っていると興味が沸き、今後の活躍に期待しながらお暇してきた。

深木三河守の石板碑が、津奈木町中尾地区、旧国道上、薩摩街道脇きに三基の深木宗方の碑がある

(-)縦80 cm横74 cm

天室領春居士

天正十四年〇〇三日孝子敬

深木宗方の碑

深水宗方の碑

(二) 縦120 cm 横50 cm
 ○不明
 ○都法方尊位
 ◎宝_{実寅}八月二十一日
 (三) 縦75 cm 横45 cm
 榮椿清華上座靈位
 文錄元年_{辰午}三月廿四日
 東南向き 梵字 旃
 宗方は文武に優れ歌人としても
 豊臣秀吉の信頼も厚く
 草も木も、なびき従う五月雨に、

短歌

宮崎 優選

小豆煮るにおい厠にみちみちて春
 立つ今日の陽さし明るむ

宮崎 優選

君が恵は、高麗百濟までと詠み現
在津奈木に歌坂の地名を残す。
求麻外史に
関白秀吉は、宗方に命じて曰く
汝が主、年猶弱なり、汝努めて
これを輔佐せよ、我は今、汝を忠
賞せんと、津奈木、水俣を（八百
丁）興え手づから朱章を賜えた。
宗方は津奈木、水俣の主であり
本町にとって、もつとも関係深く
今宗方の碑に畏敬の念を、一そう
強くするものである。佐々木緑

遺稿

病む吾を慰むごとく枕辺にシクラ
メンの花咲き盛るなり

鳥居保

今夜も名目使

立つ今日の陽ざし明るむ

被災者の土のつきいる手を握り

白兵美和子

年毎に咲き出し古木の白梅の姿

寺本ツルヲ

にて夫は切りゆく唯黙もくと

寺を忘るて見入る寺力

遺書は平和の永久にあり

突然の震災破壊に死者の数日

福田八重子

命なき血朝肯筋をよる

宮崎 優

君が恵は、高麗百濟までと詠み現
在津奈木に歌坂の地名を残す。

求麻外史に

関白秀吉は、宗方に命じて日く
汝が主、年猶弱なり、汝努めて
これを輔佐せよ、我は今、汝を恵
賞せんと、津奈木、水俣を（八百
丁）興え手づから朱章を賜えた。

宗方は津奈木、水俣の主であり
本町にとって、もっとも関係深く
今宗方の碑に畏敬の念を、一そう
強くするものである。佐々木緑

遺稿

病む吾を慰むごとく枕辺にシクラ
メンの花咲き盛るなり

鳥居保

肥後狂句

研究会 今夜も名目使おうと
あきらめて 見合ばしたら良か人
で 神無月

研究会 寄つてたかつて何さすろ
あきらめて かかの云うごつきや
決めた 薇

研究会 頭使うたあ 苦手ばい
あきらめて 次の彼氏を探します
達生

研究会 あとで一杯やりまっしゅ
あきらめて プラトニックではつ
てこう 万葉

研究会 みんなの知恵がものをいい
あきらめて 腹へったままねてし
まい 山桜

〔次笠〕 梅雨あがり 面白さ
一笠二句づつ 六月十二日まで
つなぎ文化センターへ

しや自動車・オートバイ盗等が増えています。この一年で受理した特殊物盗は、昨年の十一月合串港でトラフグが二三匹、昨年の十二月から今年の一月にかけて津奈木温泉「四季彩」でハガキ絵二枚が盗まれています。また、見つ

交通環境は良いとはいえませんが、津奈木町では高齢者の占める割合が全国平均と比べて高いため、高齢者の交通事故が懸念されます。そのため、私は、高齢者の交通事故防止に力を入れていき

たいと考えています。

一年を過ごして

中西謙二

かっています。
交通事故については、幸い今年には入ってから死亡事故の発生はあっていません。しかし、町の中を国道3号線が通り、朝は通勤車両、夜は大型トラックが走っており交通量もかなり多いことから、私の趣味としては、現在、月曜日と水曜日の週二回、農業改善センターで舞鶴太鼓(代表倉本健一)の太鼓をたたかせてもらっています。また、木曜日にB.G.体育館で男子バレーボール(代表新立豊)の練習をしています。

和太鼓は、丸くくり抜いた胴に皮を張っただけの楽器なのですが、その響きは、胎児が母体内で聞く母親の鼓動と同じだといわれています。最近では、全国で和太鼓の演奏が盛んになっており、先般も熊本県立劇場で県下から選ばれた太鼓グループによる太鼓フェスティバルが行われています。舞鶴太鼓の名が県下には知れわたるよう活躍を期待しているところです。

いづれも、メンバーの方々と楽しく練習をしています。若い人の参加が少ないのが残念に思います。今後も、地域の方々と触れ合いを大切にしながら一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。で、皆様のご協力をお願いします。